



定例会の議案審議、一般質問などの詳細は、上記のQRコードから映像でご覧いただけます。

11月号

ふじいでら 市議会だより

編集・発行/藤井寺市議会

☎939・1208

第4回定例会の日程

【本会議】

- 11月28日(金) 提案説明
- 12月 9日(火) 一般質問
- 12月10日(水) 一般質問
- 12月23日(火) 委員長報告・採決など

【委員会】

- 12月16日(火) 民生文教常任委員会
- 12月17日(水) 総務建設常任委員会

※各日10時から開催します。

日程は変更する場合があります。

令和7年第3回定例会のあらまし

令和7年第3回定例会は9月2日から9月25日までの24日間の会期で開催され、令和7年度の補正予算、報告案件、条例の一部改正及び制定など19案件について、委員会・本会議を通じて慎重に審議を行い、すべての案件を議決して閉会しました。

議会だより編集委員会 委員長：國下 尊央、副委員長：長尾 匡浩

委員：水谷 雄路、横山 太喜、生田 達也、河井 計実、花崎 由貴子

一般質問



1 排外主義・差別に対する市の認識を問う

質問 本市は国籍に関係なく、福祉・子育て支援制度の利用に差はなく、教育現場では差別を許さず、全ての子どもを尊重する人権教育を推進しています。この間の特定政党による外国人への排外的動向、差別や分断は容認できません。市長の見解をお聞かせください。

答弁 互いの存在を認め合い共生社会の実現に向け、差別は決して許されないことを発信するとともに関係団体とも連携し今後も取り組んでまいります。
要望 市職員はもちろん市民も差別を正しく認識し互いを尊重する社会のため、啓発活動と相談支援体制の充実、差別や排外主義は絶対に許さない姿勢を発信することを強く求めます。

2 加齢性難聴者への補聴器購入補助制度の創設に向けて

質問 聞こえに関する調査を実施し、補聴器のニーズをつかんでいくべきではないでしょうか。

か。

答弁 第10期いきいき長寿プラン策定に向けたアンケート調査にて、聞こえづらさの自覚や補聴器のニーズに関する質問を追加し状況把握してまいります。

要望 コミュニケーションや外出機会の減少、社会的孤立や認知能力といった課題改善のために加齢性難聴者への補聴器購入補助制度の早期創設を求めます。

3 猛暑の登下校から子どもの安全を守る対策について

質問 猛暑が続く中、登下校時も含めた熱中症対策の取り組みについてお聞かせください。

答弁 登下校中の熱中症防止のため、児童生徒に睡眠や水分補給を指導し、帽子や日傘、クールネック、ハンディファンの使用を認める学校もあります。

質問 登下校の熱中症対策は各家庭での判断に委ねられている現状があります。猛暑の中、命を守るためにも市が必要最低限の冷却パッド等を全児童に配布すべきではないでしょうか。

答弁 配布は考えておらず、引き続き学校を通じて児童生徒・保護者に啓発してまいります。
要望 経済状況や家庭環境に左右されることなく、最低限必要

な熱中症対策を防犯ブザー同様、市が配布するよう強く求めます。

4 若者への奨学金返還補助制度の創設を求める

質問 奨学金返済に苦しむ若者の現状をどう受け止めているか、市長の考えをお聞かせください。

答弁 奨学金返済の負担を認識しており本市としては給付型奨学金等の活用を基本に国・府の制度周知や情報提供に努めています。

要望 国・府の制度対象とならない若者もあり、市として経済的負担を軽減するため奨学金返還補助制度創設を強く求めます。

5 デマンド型乗合タクシーの実証運行について

質問 聴覚障がい者の予約方法についてお聞かせください。

答弁 予約については電話リレーサービスを利用していること記載し周知します。

質問 当日の予約や利用者に限らず幅広い方へのアンケート調査も検討すべきだと考えます。また、実証運行期間中の運行形態の変更はできるのでしょうか。

答弁 当日予約については利用状況を見て検討してまいります。今後、利用者アンケートに加え、幅広い方々も含めたアンケートも実施予定です。変更を行う場合は公共交通会議で検討し、運輸局と協議してまいります。

要望 市民からは予約なし定期路線型にして欲しいという意見が多く寄せられています。こうした市民の意見を取り入れた実証運行を目指し、必要に応じ実証運行期間の延長を求めます。



1 通学路の安全対策を求める

質問 藤井寺南小学校の南門から堺羽曳野線に向けて進む道路は通学路となっていますが交通量が非常に多く地域の保護者から安全対策を求める声が挙がっています。教育委員会として現状の認識をお聞かせください。

答弁 当該通学路は保護者や地域から交通量が多く心配であるとの声を聞いており、教育委員会としても交通量が多くリスクはあると認識しています。

質問 私が独自に当該通学路の交通量調査を実施した際、朝の6時45分から9時までの間にバ

イク47台、車483台が通過している状況でした。グリーンベルトや路面表示等の注意喚起にとどまらず、早急に柵などを設置し児童の安全対策の手立てを取るべきではないでしょうか。

答弁 車道有効幅員の確保が困難となるなど道路管理上の影響を勘案した上で、歩車分離による歩行者の安全確保について検討してまいります。

2 有料駐車場・駐輪場料金の減免対象者拡充を求める

3 職員の処遇改善について

質問 令和6年度の人事院勧告は大阪府下で本市のみが遡及しませんでした。物価の上昇に合わせても公務員の給与を上げ、職員の生活を保障する事は市の責務です。令和7年度の人事院勧告は遡及し完全実施をすべきだと考えますがいかがですか。

答弁 国の動きや通知を踏まえ適切に判断してまいります。

要望 本市の職員全体の給与水準はラスパイレス指数で比較すると府下平均より低いことから平成26年度から続いている職員給与の独自カットを令和8年度から解消するよう強く求めます。





改革ふじいでら
代表質問
畑 謙太郎

1 本市の行政運営について

(1) 今後の施策運営について

質問 2 期目2年目が経過して自己評価をお聞かせください。

答弁 市民病院、支所の廃止といった苦渋の決断もございましたが、持続可能なまちづくりへと踏み出すことができたと考えています。

質問 市民にとってプラスになる前向きな政策についてお聞かせください。

答弁 生涯学習センターのリニューアル、体育館等の耐震化、市民病院跡地の活用やふじみ緑地の再整備など進めています。

質問 義務的経費における今後の人件費、とりわけ給与への影響についてお聞かせください。

答弁 人事院勧告対応への判断の際には人件費にいたずらにしも寄せが及ばないよう配慮します。

2 デマンド型乗合タクシーの実証運行について

質問 デマンド型乗合タクシー

の実証運行が始まるとともに公共施設循環バスが休止になると市民生活に影響が出ると思います。これに至った経過をお聞かせください。

答弁 アンケート調査や各関係機関による地域公共交通会議での協議を重ね、実証運行を試行することになりました。

質問 利用に当たったの周知方法についてお聞かせください。

答弁 広報やホームページ、SNSに掲載し、セレモニーも実施します。

質問 停留所など変更について検討されますか。

答弁 効果の検証を行いながら改善を図ってまいります。

要望 新しい公共交通として大いに期待しています。

3 市内の道路事情について

(1) 慢性的な渋滞について

質問 本市の渋滞状況をどの様に認識されていますか。

答弁 堺大和高田線、大正橋南詰交差点等で見受けられます。

質問 これらの原因と対策についてお聞かせください。

答弁 信号機の不連続性、坂道での減速、右折レーンの有無などが要因で、府土木事務所と協議し一部右折直進の複合レーン

を設置するなど対応してまいります。

(2) 安心して通れる歩道整備について

質問 岡2丁目交差点ファミリーマート南東側での道路整備についてお聞かせください。

答弁 府に歩道整備を要望し用地買収を行い、建物撤去まで完了しております。

質問 舗装が完了している箇所について先行して開放すべきだと考えますがいかがですか。

答弁 歩行者の安全確保を鑑み部分的でも供用開始を図るべく年内に開放する見込みです。

4 熱中症対策について

(1) 教室のエアコンについて

質問 猛暑が続いていますですがエアコンの効が悪い教室もあると聞いています。メンテナンスはどのような状況でしょうか。

答弁 エアコンのメンテナンスとしてフィルター交換に加え内部洗浄を実施しております。

(2) 学校水泳指導委託について

質問 水泳指導の民間委託についての実施状況についてお聞かせください。

答弁 藤井寺小学校が実施されました。子どもは室内温水プールと安定した環境下で指導を受け、教職員からもプールサイド

から安全監視と評価を行うことができることから好評です。

要望 子どもたちのより良い教育環境の充実にしっかりと取り組んでください。



改革ふじいでら
個人質問
横山 太喜

1 子どもの遊び場について

(1) 校庭開放について

質問 進捗状況を伺います。

答弁 実施に向けて各関係機関と検討を行っております。

要望 屋内の遊び場について検討を進めるとともに人員確保のため校庭の見守り員はボランティアの場合も謝礼を支払ってください。また体育館敷地内の運動広場や図書館横のスポーツセンターを児童のみで利用できるように見直してください。

2 放課後児童会について

(1) 配慮が必要な児童について

質問 様々な配慮が必要な児童に対して専属の指導員を配置しているのか伺います。

答弁 専属の指導員は配置しておりません。

要望 一般の指導員には女性の方が多く、トラブルがあった場合の対応に指導員自身が不安を感じているとの声があります。

状況に応じて男性の指導員を配置してください。

3 本市の学校教育について

(1) 全国学力・学習状況調査について

A. 非認知能力について

質問 自己肯定感と学力の相関関係について伺います。

答弁 自己肯定感の高い児童生徒は平均正答率が高い傾向です。

イ. 学力向上の取組について

質問 自分を肯定的に捉える児童生徒は年々増加傾向にありますが、令和7年度の各教科の結果を伺います。

答弁 小学校・中学校とも全教科で全国・府平均を下回っております。

質問 平日の家庭学習を全くしない児童生徒が全国・府平均を上回っていることが課題です。市の考えを伺います。

答弁 家庭でも主体的に学べる意欲を高める授業改善に取り組むなど学校と家庭の協力を進めてまいります。

要望 児童生徒の自己肯定感が高まっておりますが、学力は向上しておりません。自己肯定感が高いから学力が高いのではなく、学力が高いから自己肯定感も高くなると考えます。本市の

学力状況調査の結果がその裏付けです。今後は基礎学力向上のため自分で学習する力と習慣を身に付けさせる放課後学習室などの取り組みを進めてください。

(2) GIGAスクール構想について

質問 制度開始後の学習状況調査の結果を見ると学力向上に寄与していないように思われます。今後の取り組みを伺います。

答弁 タブレットPCを児童生徒ごとの学習課題に応じた個別最適化や協動的な学びに活用してまいります。

要望 ICT教育は学力低下を引き起こす懸念があり、ICT教育先進国の北欧では教科書を紙に回帰させるなど政策を見直しています。当市でも安易にICT化を進めるのではなくその効果を見極めたうえで取り入れてください。

4 商工業の振興について

(1) 事業者支援補助金について

質問 他市では創業希望事業者の提案を募りプレゼン審査を通じた場合、180万円を上限に補助金を交付する制度があります。優れたアイデアを支援することが結果として法人税など

を納める事業者の増加につながります。市の考えを伺います。

答弁 検討してまいります。

要望 活用されていない補助金の見直しや優れたアイデアを持つ事業者の支援を強化してください。また事業PRにYouTubeなどの活用を要望します。

横山太喜の議会質問
の録画映像はこちら▼



公明党

代表質問

伊藤 政一

(1) 安否確認について

ア. 本市の現状について

質問 ご自宅でお住いの单身世帯の高齢者について、近隣の方から安否確認の相談が市に対して寄せられた場合、どのように対応されるかお聞かせください。

答弁 单身世帯の高齢者の安否確認の相談があった場合、ケースによって対応は異なりますが、基本的には地域包括支援センターと連携をとり緊急性が高いと判断した場合は警察や消防

等に連絡する場合もあります。

要望 安否確認のため、やむを得ず鍵や窓の一部を破損する必要がある場合、親族の承諾が取れるまで、レスキュー隊・救急車・警察官が待機状態となること

にに対し、安否確認作業の簡素化を要望します。河内長野市では、「河内長野市孤立死防止条例」と「河内長野市安否確認の実施に係る家屋修繕補助金交付要綱」があり、現場で判断し家に確認に入ることができます。

確認の簡素化の参考資料として調査・検証していただくことを要望します。

(2) 公共施設に設置しているAEDについて

ア. AEDの点検について

(点検についてお聞きしました)

イ. 講習会について

質問 各小中学校では、もしものときのため教職員向けにAEDの使用方法などの講習会を実施しているかお聞かせください。

答弁 小中学校でのAEDの講習会は、養護教諭や応急手当普及員の講習を受講した教員が中心となって操作方法に心肺蘇生法を組み合わせた実技研修を年に1回以上実施し、救助に関する一連の流れの中で役割を確認し実践的に実施しております。

質問 本庁舎の職員向けの講習会についてお聞かせください。

答弁 職員向けの講習は平成18年度から消防組合の救急隊員を講師とし全職員を対象に実施しております。

質問 講習受講は救命技能の維持向上のため2〜3年の受講間隔を推奨されていますが、職員の受講状況をお聞かせください。

答弁 取り扱い講習は、実践型講習という特性から一度に多くの人数の受講が難しく、全職員の定期的な受講体制の実現はできていませんが、受講歴のない者や新規採用職員を優先的に受講できるように進めています。

要望 AEDを稼働する機会は稀なこともありません。しかし突然心停止で倒れた人がいた場合、その場に居合わせた人が救急車が到着までの間に命を救うために一般市民が安全に使用できる種類の医療機器です。講習で使用方法だけでなく、心肺蘇生法と組み合わせた一連の救助方法を学んでおけば災害時に避難所等でAEDが稼働する事態になっても講習を受講した職員は市民に安心を与える存在になれると確信します。



公明党
個人質問

片山 敬子

1 今後の行財政運営の展望について

質問 令和5年度は財政調整基金を3億8000万円取り崩し黒字を確保した状況であり、その後状況はどうですか。

答弁 令和6年度決算においては財政調整基金を取り崩すことなく黒字を確保することができました。

質問 市の行政運営を安定的に継続していくためには政策予算の有効活用と実行するため職員の意識改革が重要だと考えますがお聞かせください。

答弁 様々な取り組みを通じ予算の確保に努め、職員の意識改革に向けては人事評価制度などの活用で取り組んでまいります。

質問 職員にとってせっかくなのようないい制度が進められる中で無期限にされている給与の独自カットが続くと勤勉手当の弾力化もその効果がそがれることになりませんか。その観点からも独自カットの解消の対応を講じて行くべきだと考えますがいかがですか。岡田市長にお聞きします。

答弁 令和8年度、人事評価制度が本格実施施行予定となつて

おり現行の給与制度に係る措置が併存することは、ご指摘のように効果をそぐ可能性が懸念されます。給与の減額措置の取り扱いについてはスピード感をもって善処していきます。

要望 独自力は早急に解消していただけると市長の思いを聞かせていただきました。一日でも早く対応して下さることを重ねて要望いたします。

2 保育所の入所について

質問 入所を希望された方で決まらなかった、決定時期が遅くなり不安を感じたとお声をいただきました。令和8年度の待機児童解消に向けた取り組みとスケジュールの前倒しをお願いをしたいのですがいかがですか。

答弁 待機児童解消実現に向けて新設民間保育所で定員を確保するように進めております。入所受け付けも前倒しするとともに、継続申請をオンラインに変更し事務改善を図ります。

要望 市民が不安、不満を感じない様な保育行政を進めてください。又令和8年度から誰でも通園制度がはじまるので併せてお願いします。

3 学校における盗撮防止対策

の現状について

質問 教員が児童生徒等を盗撮し、逮捕されるという事案を受け、対応、取り組み、相談窓口、教員の研修、未然防止マニュアルの作成についてどのように行っていくのかお聞かせください。

答弁 教育長から服務規律の徹底、カメラ等設置ができない環境づくり、学校と公的機関の相談窓口の周知徹底、校内研修を指示しました。また、指針策定の準備をしています。

要望 児童生徒、保護者への啓発や研修もお願いします。



公明党
個人質問
水谷 雄路

1 本市における避難所の環境改善について

質問 避難所運営ゲーム(HUG)の今後の展開についてお聞かせください。

答弁 「避難所運営ゲーム」では、避難所で起こり得る様々な問題を疑似体験できることから、避難所を担当する職員をはじめ、多くの職員にも活用できるように、引き続き調査してまいります。

要望 HUGのカードには様々な避難者が想定され、乳幼児や

妊産婦、高齢者、障がい者、外国人、傷病者や遺児なども含まれています。自治体職員として公平・平等の考え方は大切にながらも、配慮が必要な方にはどのように対応したらよいのかを限られた時間で考え、話し合うことで、その後のマニュアル作りや既存のマニュアルの改善などに生かすことができます。今後の避難所運営に、そして、改善に取り組んでいただくことを要望させていただきます。



大阪維新の会
代表質問
河井 計実

1 郷土愛について

要望 八紘一宇という言葉があります。戦時中軍が使ったことが多くですが、本来は神武天皇が語った言葉として日本書紀の中に記載された言葉が元となっており、本来の意味は天地四方八方の果てに至るまで、この地球上に生存するすべての民族が、あたかも一軒の家に住むように仲良く暮らすこ

と、つまりは世界平和の理想を掲げたものなのです。本来平和教育というものは地球上のすべての人々が家族のように仲良く暮らすことを目的としています。藤井寺市民が郷土愛を通じて、あたかも一軒の家に住むように仲良く暮らし平和を発信していくことは可能だと思います。市民と行政が力を合わせてみんなが助け合って愛し合って支え合う、藤井寺市を創っていただきたいと思っています。

2 職員の待遇について

要望 近隣他市では勧告に基づく給与改定が実施されるなど、本市との給与格差が生じています。この状況は優秀な人材の確保・定着を困難にし、市民サービスの低下につながるおそれがあります。一方、令和7年度の財政状況は改善傾向にあり、基金の取り崩しもなく、令和6年度の分を戻したと伺っております。これは職員の努力の成果と評価いたしますが、今後も予算は許されず、給与の独自カット解消などは慎重に進める必要があります。しかしながら、本市職員は「市民の財産」であり、安心して働き続けられる環境整備は持続可能な自治体経営のためにも不可欠であります。つき

ましては、下記の点について強く要望いたします。「他市比較に基づく給与水準の客観的分析と改善方針の策定」「福利厚生・職場環境の充実(働き方改革、スキルアップ支援等を含む)」本要望が真摯に受け止められ、速やかに具体的対応が図られることを切に願います。

河井計実の議会質問
の録画映像はこちら▼



大阪維新の会
個人質問
松本 洋介

1 2040年問題について

要望 医療費や介護給付費の抑制、そして何より市民が生活の質を高めていくには健康寿命の延伸がキーワードです。また、健康寿命の延伸によりシルバー人材登録や消費等にも期待が持てます。介護申請にいたる主たる要因が認知症、脳血管障害、骨折や転倒、加齢、関節疾患とわかっていることから、その点にフォーカスした対策を講じてください。人材獲得などについては本市の規模では大都市と比較すると人材獲得に大きな後れをとることは目に見えております。よって、人員は最小限で、かつ利益を大きく得られるA-I

やDXを活用して省力化を図るような先進的な事業を創業される企業に対して、事業者支援補助金の拡充を行い、税収につながる企業の誘致を積極的に実施してください。次に公共施設の老朽化などに対応していくためには、各々の機能を集約させた施設の高機能化や利用状況に見合った規模への統廃合を行うなど、施設に係る物的・人的コストの縮減も求められるところであると考えますので、その観点も視野にいれ老朽対策を進めてください。学校の統廃合については、人口減少、少子高齢化が進み、実際に今年度の新入生が1学級になっている小学校もあると聞いております。人口動態や区割り、老朽化等を含めての統廃合や小中一貫校等の方針を令和8年度中には方針を示してください。なにをするにも財源が必要です。まずは、財政調整基金、いわゆる市の貯金を含めた、住民一人当たりの積み立て残高を大阪府内最下位からの脱却と経常収支比率の連続した90%台の継続となるよう尽力してください。課題は本市だけでは解決できない事業が多数含まれているかと思えます。よって、合併等も視野にいれた大胆な広域連携も含め、市長には改

革を行っていただきたいことと我々大阪維新の会も課題解決に向け尽力いたします。

2 多面性評価と人事評価について

要望 人事評価制度においては、努力した職員が報われるという点と納得性や公平性、客観性、透明性等は非常に重要です。令和8年度から本格稼働の予定とのことで期待をしております。また、本日や以前からの答弁でこの人事評価制は相対的処理や多面性評価を含め、ほぼすべて私の訴えや考えが含まれていることも確認できました。職員の意欲向上につながるよう、評価結果の給与反映がさらにメリハリをつけるよう要望します。

松本洋介の議会質問
の録画映像はこちら▼



政新クラブ
代表質問
國下 尊央

1 本市の行財政運営について (1) 人事院勧告について

質問 令和7年8月7日の人事院勧告についてお尋ねします。

答弁 月例給与特別給のほか、諸手当の改善に向けた改定勧告があったものです。また地域手当は、令和6年の勧告で6級地6%から3級地12%への段階的見直しとされており、令和8年度においては10%から11%への見直しが見込まれているものです。

要望 人事院勧告では令和6年度に引き続き報酬の引き上げが示され支出の増加に多少影響があると思いますが職員待遇が他市よりも劣るようでは人材の流出は避けられず、また新規採用も他市に後れをとり結果的に職員不足に陥る事もありえます。これは市民サービスの低下を招く恐れがあり市民サービスの低下は人口流出の増加にも大きく影響すると考えられます。令和7年度はしっかりと職員の給与に反映して欲しいと思います。

(2) 第六次藤井寺市総合計画について

質問 第六次藤井寺市総合計画が策定されおおよそ1年半が経過するが冒頭の市長のあいさつの中に「交流人口・関係人口を拡大させることで、移住・定住の増加につなげてまいります。」とあるが具体的にどのような施策

を進めているのかお尋ねします。

答弁 基本計画に掲げ関係人口交流人口の拡大に向けた、まちの魅力や観光名所の積極的な情報発信などの取り組みをおこなっています。本市のことをより多くの人に知っていただきブランドイメージの向上を図ることで移住定住の増加につなげていきたいと考えております。

要望 空き家のリフォーム時のように、借入金の金利優遇を金融機関と連携して、実施するといふのはいかがでしょうか。例えば、新婚世帯や子育て世帯等の若年層にターゲットを絞り、本市で住宅を取得する場合、借入金について金利を優遇することとで、総合計画にも記載のある「若年層の移住・定住促進」につながり、少子化、人口減少の課題解決を図る施策の一つとなると考えます。ぜひ住宅金融支援機構やその他金融機関との連携について検討していただきたいと思えます。

(3) 行財政改革プラン2024について

質問 最近の物価高騰も踏まえ、取り組みの強化縮小などは今後、検討するのをお聞かせください。

答弁 物価高騰による行財政運

営への影響として負担の増加につながる可能性があることからプランの一つである「予算編成の見直し」を通じて抑制に努めていきたいと考えています。

要望 行財政改革プラン2024に基づく取り組みについては、社会情勢や達成度も考慮し、計画期間内であってもブラッシュアップしながら進めていただきたい。そのうえで職員の確保、適正な職員体制の構築に努め、ハード・ソフト両面における市民サービスの維持向上を図り、持続可能な行財政運営に取り組んでいただきたいということを要望します。



政新クラブ
個人質問
岡本 光

1 児童生徒の相談体制について

質問 いじめ認知件数と推移を教えてください。

答弁 令和5年度と令和6年度で小学校は174件から286件、中学校は85件から206件に増加した理由は、些細なトラブルでも、いじめを積極的に認知する取り組みを進めアンケートや教育相談を定期的に実施している結果です。

質問 子どもが解決策を見つけ

られる取り組みがありますか。

答弁 「ソーシャル・スキル・

トレーニング」を取り入れ正しい自己表現や良好な対人関係を学び社会生活に必要なスキルを育む支援を行う学校もあります。

要望 様々な取り組みによって早期発見が進んでいることは評価いたします。次は、いじめの根絶を目指すことが目標となります。メンター制度の紹介もいたしましたが、このような取り組みを参考にいただき、子どもたちにとって安心できる場所となるよう要望いたします。

2 大阪府公立高等学校入学者選抜制度について

質問 大阪府公立高等学校入学者選抜制度は、いつから変更になるのでしょうか。

答弁 令和10年度入学者選抜から制度が変更になります。

質問 主な変更点にはどのようなものがありますか。

答弁 現行の特別入学者選抜と一般入学者選抜が一本化され、3月に一般入学者選抜として実施され「学校特色枠」として学科・コース等の特色にかなう生徒を優先的に合格とする仕組みの導入、また同一校内の複学科志望を可能となり第2志望校

に出願できる機会が設けられます。

質問 制度について、どのように周知していくのでしょうか。

答弁 現在中学校1年生の生徒が受験する際の変更となりますので、丁寧に説明し、進路指導を適切に行うよう、各中学校に指導してまいります。

要望 第2志望校に出願できることは選択肢が増えることにつながると思いますが公立高校の統廃合が進むことで制度がきちんと機能するの不安なところもありますので生徒ファーストとなるように国や大阪府への要望をお願いいたします。



1 誰もが出かけやすいまちづくり

(1) バリアフリー基本構想について

(2) バリアフリートイレについて

質問 バリアフリートイレを必要とする方にとって情報の発信

は大切です。ホームページに掲載すべきだと考えますが、周知されているかお聞かせください。

答弁 今後、ホームページの掲載方法を検討します。

要望 バリアフリー情報を一目でわかるよう市独自でマップを作成することや大阪府のトイレマップへアクセスできれば、市民が安心して出かけやすいまちとなります。しっかりと発信し伝わるよう要望します。

(3) 自転車に関する道路交通法の改正について

要望 不安な市民のために今後の方針を発信し、改正内容に関する講習会を実施してください。

2 郵便による不在者投票について

要望 郵便等投票証明書を公布されている方が負担なく円滑に選挙権を行使できるよう郵便等による不在者投票の投票用紙の請求の手続きを要望します。

3 職員の人材育成について

質問 市長の人材育成の目標をお聞かせください。

答弁 人材育成の目指す先は市民サービスの向上と考えており、職員の主体的な学びと成長

を促進していきたいと考えています。

要望 市長の考え方で職員の意識が変わることがあります。他市の事例を参考にコミュニケーションを活性化させ帰属意識の向上を目指すことや管理職に女性がいることで物事に対する視点が変わります。女性管理職の育成にも注力してください。



1 行政施策について
(1) 救命率向上プロジェクトなどの共助について

質問 災害発生後の具体的な早期復興計画の事前策定が必要で、私は市内の公衆浴場との連携など進めています。大阪南消防局が進めるAEDを使用したプロジェクトを伺います。

答弁 管内の事業所等が所有するAEDを指令システムに登録し、住民が専用アプリに登録し、住民が専用アプリに登録し、現場周辺の登録者に要請し、早期に救命を行う事業で

す。

要望 本市職員全員のボランティア登録と、市民へのプロジェクト内容の周知を要望します。

(2) 公用車について

質問 地球温暖化対策実行計画に自動車の利用抑制とあるが、公用車の所有台数を伺います。

答弁 合計98台です。

要望 多いです。民間企業と連携するなど効率的な運用や管理コストの削減を要望します。

(3) MEGURUについて

質問 万博開催で企業との連携により導入経費ゼロにて大阪府で初取り組みとなったLINEデジタルスタンプラリーMEGURUは、来訪者や市民の市内周遊を促し、観光や健康増進に寄与します。現在の登録者数を伺います。

答弁 4千6百人の登録です。

要望 職員の努力が、この短期間での登録者数増に実を結びました。多くの登録者が楽しんで活用し続けてくれる展開策にて、今後も本市の魅力を発信し続けていただけよう要望します。

生田達也の議会質問の録画映像はこちら▼



令和7年第3回定例議決結果一覧

議案番号・議案名		改革		ふじいでら		公明党		維新の会		政新クラブ		日本共産党		無党派		結果
		山本忠司	畑謙太郎	横山太喜	片山敬子	伊藤政一	水谷雄路	松木洋介	河井計実	國下尊央	岡本光	木下誇	長尾匡浩	花崎由貴子	生田達也	
議案第34号	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第35号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第36号	藤井寺市手数料条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第37号	藤井寺市印鑑条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第38号	藤井寺市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	議長のため表決せず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	原案可決
議案第39号	令和7年度藤井寺市一般会計補正予算（第4号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第40号	令和7年度藤井寺市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	原案可決
議案第41号	令和7年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	原案可決
議案第42号	令和7年度藤井寺市介護保険特別会計補正予算（第2号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第43号	損害賠償の額の決定及び和解について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第44号	令和7年度藤井寺市公共下水道事業会計補正予算（第1号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第45号	令和7年度藤井寺市一般会計補正予算（第5号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	原案可決

※表の見方 「○」は賛成 「×」は反対

報告・継続審査案件

報告	令和6年度藤井寺市健全化判断比率の報告について
	令和6年度藤井寺市資金不足比率の報告について
継続審査	令和6年度藤井寺市一般会計歳入歳出決算認定について
	令和6年度藤井寺市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
	令和6年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
	令和6年度藤井寺市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
	令和6年度藤井寺市公共下水道事業会計決算認定について

